

転倒を治せるシャント術 特発性正常圧水頭症 (iNPH)

日時 2022年 **10月16日** [日] **8:30~9:30**
会場 **第1会場** [パシフィコ横浜・会議センター]

座長 **村井 尚之** 先生 [千葉県済生会習志野病院 脳神経外科]

「地域医療の
特発性正常圧水頭症ケアにおける重要性」

演者 **大池 涼** 先生 [名戸ヶ谷病院 脳神経外科]

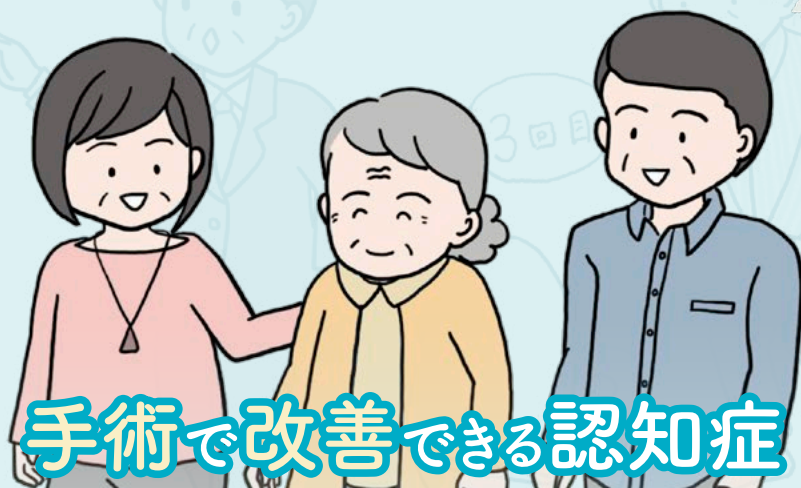
「iNPHと
転倒リスク評価のテクノロジーの進歩」

演者 **山田 茂樹** 先生 [名古屋市立大学 脳神経外科]

共催

日本転倒予防学会 第9回学術集会
Integra Japan 株式会社





手術で改善できる認知症

特発性正常圧水頭症

特発性正常圧水頭症（iNPH）は、頭蓋内に髄液がたまり、脳が圧迫されて認知症などのさまざまな症状が出る病気。

髄液の流れをよくする手術で症状の改善が見込めるため「改善できる認知症」としても知られています。

高齢者に多い病気で、日本には高齢者の約1.1%、約37万人の患者さんがいると言われています。

“iNPHのサイン”を見極めよう！

主な症状は「歩行障害」・「認知症」・「尿失禁」の3つ。
特に“開脚ですり足、小刻みに歩く”といった歩き方は、
認知症が現れる他の病気と区別するポイントになります。



歩行障害



開脚で不安定な歩き方
つまづきやすく、よく転ぶ

認知症



ぼーっとしている
物忘れがひどい

尿失禁

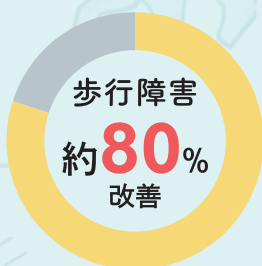


トイレに間に合わない
頻尿または尿失禁状態

手術でよくなる疾患です。

iNPHは、症状とCTやMRIなどの検査で診断できます。治療は1時間程度の水頭症治療の基本的な手術と10日間程度の入院。
個人差はあるものの、歩行障害は約80%、
認知症は約70%、尿失禁は約50%の方が改善し、介護が軽減するケースも多く見られます。

出典：特発性正常圧水頭症ガイドライン第3版



どうすればいいの？

なるべく早く見つけ出し、正しい治療を行うことが大切です。最近転びやすい・スムーズに歩けないなど自覚症状を感じたとき、ご家族が見て、歩き方がおかしい・元気がないなどの違和感を覚えたときは、かかりつけ医あるいは専門医（脳神経外科・脳神経内科）を受診しましょう。



もしかしたら…
と思ったら

詳しくは「特発性正常圧水頭症サイト」へ

INPH

検索

www.inph.jp
セルフチェック・病院検索も

ご相談は「高齢者の水頭症コールセンター」へ

0120-279-465

（受付時間
平日8:00～20:00）